

健康法 手話で伝授

聴覚障害者ら対象に講話

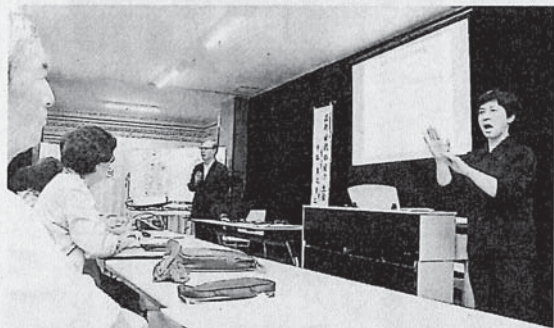
市民団体

弘前

高齢者の健康づくりに取り組む弘前市の市民団体「ヘルシーエイジング」(齋藤紀代表)がこのほど、聴覚障害者の健康意識も高めようと、同市のヒロロで、健康講話を手話付きで行った。

同団体は昨年度から市の補助金を活用し、市と弘前大が養成した「ひろさき健康増進リーダー」とともに活動。アンチエイジング(老化防止)ではなく、年齢に逆らわない健康的な老いを目指している。3カ月単位で全9回、体操や歌に続き、写経や健康講話など「ミニ講座」を行っている。

齋藤代表は聾学校の元教員。7月から教え子が、祖母の付き添いとして参加していたため、この日の弘前大学医学研究科の中路重之



手話通訳付きで行われた中路特任教授(写真奥)の健康講話

特任教授の講話を、手話付きで行うことにした。

中路特任教授は、寝たきり防止のため、骨や筋肉を強くすることの大切さなどを説明。受講生約40人のほか、聴覚障害者7人が健康づくりに理解を深めた。

短命県返上を目指している

中路特任教授は「手話付きの講演は初めて。市民の

自発的な取り組みでうれし

い」と話し、

齋藤代表は

「障害者が講話に触れる機会がなかった。こうした

取り組みを広げていきたい」と語った。

(鎌田秀人)